



平成28年11月7日

各 位

上場会社名 古河機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮川 尚久
 (コード番号 5715)
 問合せ先責任者 経理部長 酒井 宏之
 (TEL 03-3212-7021)

連結業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月10日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の連結業績予想値と実績値において、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月10日に公表いたしました平成29年3月期通期業績予想値（連結・個別）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値と実績値との差異

平成29年3月期第2四半期累計連結業績予想値と実績値との差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (平成28年5月10日発表)	百万円 76,500	百万円 3,000	百万円 2,400	百万円 1,600	円 銭 3.96
今回発表実績(B)	70,220	2,898	1,774	1,098	2.72
増減額(B - A)	6,280	102	626	502	
増減率(%)	8.2%	3.4%	26.1%	31.4%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	86,385	3,999	3,248	2,440	6.04

2. 連結業績予想との差異の理由

連結業績につきましては、円高の進行により為替差損が発生したため、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想を下回り差異が生じたものです。

3. 通期業績予想の修正

平成29年3月期通期連結業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年5月10日発表)	百万円 161,500	百万円 8,000	百万円 6,500	百万円 4,500	円 銭 11.14
今回修正予想(B)	146,000	6,000	5,700	3,500	8.66
増減額(B - A)	15,500	2,000	800	1,000	
増減率(%)	9.6%	25.0%	12.3%	22.2%	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	161,799	7,988	6,227	5,056	12.51

平成29年3月期通期個別業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年5月10日発表)	百万円 9,000	百万円 4,000	百万円 3,800	百万円 3,600	円 銭 8.91
今回修正予想(B)	9,000	4,000	5,400	4,800	11.88
増減額(B - A)	-	-	1,600	1,200	
増減率(%)	-	-	42.1%	33.3%	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	9,713	4,556	4,268	3,831	9.48

4. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成28年5月10日）発表の業績予想における前提を、銅価5,000米ドル/トン、為替110円/米ドルとしていましたが、直近の動向を考慮し、下期では、銅価を4,800米ドル/トン、為替を100円/米ドルへ変更しました。金属部門では、銅価の下落と円高により減収となり、また、産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門でも、直近の状況から判断し、減収となる見込みです。減収に伴い、営業利益も減益となる見込みです。なお、又サ・テンガラ・マイニング株式会社からの配当を織り込んでいますが、営業利益の減益分を挽回するには至らない見込みです。これらにより、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正しています。

通期の個別業績予想につきましては、又サ・テンガラ・マイニング株式会社からの配当を織り込み、経常利益、当期純利益を上方修正しています。

（注）本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上